

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)					担当教員	深谷 慎介 (フカヤ シンスケ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/協同学 修型 AL/課題解決型 AL
	2025-0-41-061	ゼミナール科目	必修	2 単位	4 年次	通年		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/協同学 修型 AL/課題解決型 AL
	2425-0-41-006	ゼミナール科目	必修	2 単位	4 年次	通年		

① 授業のねらい・概要
「各自の学びの深化」と「地域・学生双方の福祉の向上」を志向するゼミナールである。ゼミナール全体としては『社会に開かれ共同性を重視した学習環境』としての『レジデンシャル・カレッジ（一種の学生寮、「安価で良質な生活の場」かつ「偶発的な学びを能動的に生み出す場」）の建設』を具体的なテーマとするが、個々人の興味や適性を尊重する。各自、興味あるテーマについて探求することを通じて、「仮説の設定」、「討論の編成」、「評価方法の提案」という3つの技能の獲得を目標とする。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢/職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/コミュニケーション能力/情報収集・分析力/を涵養する授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
各ゼミ生は単独で研究を進めてもらっても構わないが、複数名で連帯し研究することも妨げない。必要に応じ、ゼミナール全体で、文献の輪読、インタビュー調査、データ分析手法の講習などを実施する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
テキスト指定なし。必要がある場合、ゼミナールの学生の意見を聞いて指定する。必要に応じて資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
皆さんの自主性を重んじ、サポートする形で授業を進めたいと考えています。 共に学びを楽しみましょう！
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、独力で、設定することができる。 (ii) 討論に参加する意欲は高く、討論内容の理解にも優れ、討論の場を編成（オーガナイズ）しようと努めており、発言も的確である。 (iii) 仮説の妥当性を示すために必要な条件を、根拠と共に提案することができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 仮説の設定	自身の興味だけでなく先行研究も勘案し、探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、独力で、設定することができる。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、独力で、設定することができる。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定でき、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を、教員の補助のもと、設定することができる。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定できるが、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を設定することができない。	自身の興味にもとづいて探求するテーマを設定できず、現象を説明したり、課題を克服するための仮説を設定することもできない。
(ii) 討論の編成	討論に参加する意欲は高く、討論内容から論点を整理し、討論の場を編成(オーガナイズ)でき、発言も的確で、討論全体を牽引することができる。	討論に参加する意欲は高く、討論内容の理解にも優れ、討論の場を編成(オーガナイズ)しようと努めており、発言も的確である。	討論に参加する意欲は高く、討論内容の理解にも努めているが、発言は要領を得ない。	討論に参加する意欲は高いが、討論内容の理解は不十分であり、発言も少ない。	討論に参加する意欲に乏しく、発言することもない。

(iii) 評価方法の提案	仮説の妥当性を示すために必要な条件を、根拠と共に提案することができ、具体的な評価方法として実装できる。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を、根拠と共に提案することができる。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を、無根拠ではあるが提案することができる。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を考察する意欲は高いが、それらを提案することができない。	仮説の妥当性を示すために必要な条件を考察する意欲に乏しく、それらを提案することができない。
---------------	---	-------------------------------------	--	---	---

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			30%	40%	30%		100%
(i) 仮説の設定			10%	10%	10%		30%
(ii) 討論の編成			10%	20%	10%		40%
(iii) 評価方法の提案			10%	10%	10%		30%
フィードバックの方法	毎回の授業で、討論や諸活動の成果等について講評する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10 分
2	取り組むテーマの検討	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
3	取り組むテーマの検討	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
4	取り組むテーマの検討	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
5	取り組むテーマの絞り込み	各自担当回にゼミナールで取り組むテーマを考えてくる	60 分
6	取り組むテーマの決定	ゼミナールで取り組むテーマをどれに絞るかを考えてくる	60 分
7	取り組むテーマについての企画を検討する	決定したゼミナールのテーマに関して企画を考えてくる	60 分
8	取り組むテーマについての企画を検討する	決定したゼミナールのテーマに関して企画を考えてくる	60 分
9	取り組むテーマについての企画を検討する	決定したゼミナールのテーマに関して企画を考えてくる	60 分
10	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
11	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
12	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
13	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
14	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
15	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う	60 分
16	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
17	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
18	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
19	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
20	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
21	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分

22	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
23	取り組むテーマの情報収集と報告	ゼミナールで取り組むテーマに関する情報収集を行う 必要に応じて活動報告書を作成	60 分
24	成果発表会の準備	発表資料の作成	60 分
25	成果発表会の準備	発表資料の完成	60 分
26	成果発表会の準備	発表練習の実施	60 分
27	成果発表会のふりかえり	発表の振り返りと報告書の作成	60 分
28	成果報告書原稿作成	報告書の作成	60 分
29	成果報告書原稿作成	報告書の作成	60 分
30	成果報告書原稿作成	報告書の完成	60 分

⑫	アクティブラーニングについて
ゼミナールで決めたテーマについてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、考察を深める。必要に応じてフィールドワークも実施する。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬	実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	